

平成24年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山工業高等学校 学校長名：小山 宣樹 印

目指す学校像 ・ 育てたい生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓である「質実剛健」のもと、健全な心身の発達に努め、自主自立の精神をもって工業技術を体得し、我が国産業発展の原動力となる生徒を育成する学校 ・勤労を尊重する精神を養いながら自らの個性を伸ばし、わが国産業の発展に貢献できる心身ともにたくましい生徒
------------------------	---

年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 進路保障に向け、基礎学力の充実を図る。
	2 基本的な生活習慣の確立を基礎とし、問題行動の防止に努める。
	3 近隣地域との連携を図り、文化、防災の拠点校を目指す。
	4 校務運営の適正化、円滑化に努める。

達成度	A 十分に達成した (80%以上)
	B 概ね達成した (60%以上)
	C あまり十分でない (40%以上)
	D 不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善方策の公表の方法
年度末に発行する学校だよりに学校評価の結果を掲載するとともに、本校ホームページでも公表する予定である。

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。
 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価							
重点目標			年度評価 (2月13日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善方策
1	基礎学力の不足等で第一希望の進路に進めていない生徒がいる。	○第一次試験の状況 ○実力テストの成果 ○補習等の状況	○各学科の工夫に加え、普通科も含め、定期的に意見交換する。 ○基礎学力向上に向け、補習等を充実する。	○第1次試験での合格者数 ○模擬試験や実力テストの結果 ○補習等の実施回数時間	○1次合格率 66.5% (前年度 65%) ○実力テスト(5教科平均) 1、2年とも平均 50%。 ○資格取得や成績向上のための補習等について、各科や教員独自で取り組み、成果を上げた。 A評価 24.7% B評価 65.8%	A	基礎学力の充実を図り、1次合格率をさらに伸ばすよう改善するとともに、補習等の一層の充実を図る。
2	家庭との協力関係の希薄さが感じられ、基本的な生活習慣の乱れが続いている生徒も見受けられる。	○家庭との連携の状況 ○基本的な生活習慣の定着状況	○基本的な生活習慣の確立を図り、遅刻・欠席の減少につなげる。 ○触法行為等、問題行動の防止に努める。	○三者面談等の成果 ○特別指導の回数 ○遅刻・欠席者数	○3者面談は学級単位で適宜実施 ○特別指導は61回(前年度77回)で、喫煙や運転免許で指導が多い。 ○登校指導等、校門や街頭(地域)に出て保護者と協力し全職員で積極的に取り組んだ。 A評価 17.8% B評価 65.8%	B	喫煙等の特別指導を少なくするよう指導の改善を図る。(10%減) 保護者との連携や地域街頭指導等の充実。 指導方針の徹底。
3	本校の特色が小中を含む近隣地域に、十分に伝わっていない。	○開かれた学校づくりの状況 ○学校説明会の状況	○学校開放週間等を積極的に地域に広報する。 ○学校説明会の実施。 ○防災等の合同訓練を実施する。	○学校開放週間等の来校者数やアンケート結果 ○小中との連携に係る会合等への出席人数や回数	○開放週間来校者数 14名(前年度 20名)。 ○中学校に対し、出前授業(串本町)を実施した。 ○学校説明会(中学生体験学習)には、県内外より631名の中学生や保護者等の参加があった。 ○新聞やTVを通じ広報できた。 A評価 11% B評価 65.8%	B	情報発信の一層の工夫で、学校開放週間や体験学習等の発信の機会を充実させ学校内外に対し、広報に努める。
4	校務等の多様化が見られる	○文書事務の平準化 ○会議等の効率化	○会議の回数を減らしたり、要時間の短縮を行う。 ○文書様式の統一化を図る。	○会議の回数や時間 ○文書事務の改善の成果	○職員会議 26回(前年度 31回)。 ○職朝時に「職朝メモ」等を利用して時間短縮を図り、SHRの時間確保ができた。 A評価 30.1% B評価 57.5%	A	さらなる工夫をし、校務の効率化を図る。

学校関係者評価
平成25年2月13日実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p><保護者評価、学校評議員評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「素晴らしい授業や実習を見た」 ・「学校関係者評価の工夫」 ・「情報発信の一層の工夫」 <p>などの意見が寄せられた。</p> <p>A評価 25% B評価 31% C評価 23% 未記入 21%</p>
<p><生徒評価></p> <p>ほとんどの生徒が本校を卒業して「自分の将来に展望が持てる」と答えている。</p>